

2018年度 交換留学生募集(第2回)対象学科・学年、推薦人数、留学期間

以下の表により、対象学科・学年を確認すること。

B: 派遣時に学部3年生※

M: 派遣時に博士前期(修士)課程1年生※

※“B”が記載されている協定校へ学部4年生時に交換留学を希望する者、あるいは“M”が記載されている協定校へ修士2年生時に交換留学を希望する者は、卒業・修了制作時期と留学時期が重なることについて、研究室・担当教員に十分に相談したうえで、許可が得られれば応募可能です。

募集	協定校名\学科・専攻・領域名	日本画	油画	版画	彫刻	工芸	グラフィック	プロダクト	テキスタイル	環境	情報 (メ芸・情D)	芸術学*1	統合	演劇舞踊 (演舞・劇美)	推薦人数	留学期間 (1学期)*2	
第2回 (12月選考)	シラパコーン大学 (タイ)	BM	BM	BM	BM										1名	2018年8月 ～2018年12月	
	弘益大学校 (韓国)	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM		2名	2018年8月 ～2018年12月	
	アアルト大学 (フィンランド)	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM		2名	2018年8月 ～2018年12月	
	ベルリン芸術大学 美術学部 (ドイツ)	BM	BM	BM	BM										2名	2018年10月 ～2019年2月	
	国立台北芸術大学 (台湾)	BM	BM	BM	BM			BM		BM	BM	BM	BM		1名	2018年9月 ～2019年1月	
	ヘリット・リートフェルト・アカデミー (オランダ)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B		1名	2018年9月 ～2018年12月	
	ソウル大学校 (韓国)	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM		1名	2018年9月 ～2018年12月
	オスロ国立芸術大学 (ノルウェー)								BM		BM				1名	2018年8月 ～2018年12月	
	ヨーテボリ大学 (スウェーデン)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B		1名	2018年9月 ～2019年1月	
	国立高等装飾美術学校 (フランス)	BM	BM	BM	BM			BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM		1名	2018年10月 ～2019年1月

注: *1: 芸術学科の学生派遣については、作品制作を行っている学生が主な対象となります。

*2: 派遣時期については、先方の都合等により変更となることがあります。

2018 年度 交換留学生募集要項 (第 2 回)

1. 交換留学制度について

本学と学術交流協定を結んでいる海外協定校に派遣するため、下記の通り本学から推薦する学生を募集する。多摩美術大学での学内選考を通過した者は本学の推薦のもと、協定校に対し交換留学の応募をすることができる。応募書類を協定校に送付し、先方から正式に受入の内定を得た者が、交換留学生として派遣される。(応募先の協定校での審査結果によっては、学内選考の結果に関わらず受入拒否となる場合があるのでよく注意すること。) 交換留学生に選ばれた者は、本学へ授業料を納めれば、留学先での学費は全額免除される。

2. 交換留学対象校、本学対象学科・学年、推薦人数、留学期間

別紙「2018 年度 交換留学生募集 (第 2 回) 対象学科・学年・推薦人数、留学期間」を確認すること。

※2018 年度第 1 回募集で合格した者は、今回の募集 (第 2 回) に応募することはできない。

応募資格

- ① 対象学科・学年に所属する学生であること (原則として応募時点で学部 2 年生、または本学大学院に進学する意思のある学部 4 年生)。
 - ② 美術学部 3 年次での留学を希望する学生については、2 年次修了時まで卒業要件科目を 62 単位以上習得していること。学部 4 年次・修士 2 年次での留学を希望する学生については、交換留学開始までに卒業要件科目を全て取得していること (ただし、最終年度に開講されている科目で、交換留学中の単位認定対象となるものを除く)。交換留学直前までに同条件を満たせなかった場合、交換留学の資格を取り消す、もしくは出発後に留年となる可能性がある。
 - ③ 美術研究科修士課程での留学を希望する美術学部 4 年生については、本学の修士課程入学試験に合格し、進学することが必要となる。また、交換留学期間が終了した後、本学で修士課程を修了する意思があること。
 - ④ 留学先で授業を受けるのに支障のない程度の語学力 (英語もしくはその他の現地語) があること、または派遣時まで向上させる意思があり、能力的にもそれが見込めること。英語力の目安については、英検 2 級 / TOEIC 520 点 / TOEFL iBT 53 点 / IELTS 4.0 以上を学内選考への応募時点で取得していることが望ましい。
- ※ソウル大学校に応募する者は、入学年度から 2017 年度の学内成績において GPA3.0 (4.3 満点) 以上が必要 (計算方法については、国際交流室に問い合わせること)。2017 年度の学内成績が決定した際に、GPA が 3.0 に満たない場合は学内推薦資格を失う。
- ⑤ 心身ともに留学生活に適応できる健康状態であること。
 - ⑥ 渡航費および滞在費等を自己負担できること。
 - ⑦ 本学への学費を滞納していないこと。
 - ⑧ 留学先の国籍を保持する本学留学生については、その国の協定校への応募は認められない。
 - ⑨ (a) 応募時の年度の進級判定会議において留年が確定した者、もしくは (b) 派遣時の年度に休学をしている者は応募資格を喪失する。

※応募時の年度に休学をしている者については公平性を期すために、他の応募者同様に①本要項で指定する方法で応募書類を提出し、②指定された日時に本学八王子キャンパスで選考面接を受け、③合格後は本学でのオリエンテーションに参加することを条件に応募を認める。したがって、郵送での書類提出や skype 等における遠隔地での面接は認めない。

3. 単位認定

本学が適当と認めた留学中の成果に基づき、留学期間に本学での授業科目を履修したのものとみなすことができる。その際、単位認定科目については原則として所属学科の進級必要要件科目に限る。留学先での成果を示すため、派遣先での成績証明書、制作物、留学体験レポート等を本学の所属学科研究室に提出する必要がある。

4. 応募について

* 「ステップ1：メール登録」、「ステップ2：応募書類提出」「ステップ3：英語テストの受講」の3段階の手続きを期間内に必ず行うこと。

ステップ1 下記内容をメールで送信・登録

宛先：intl-ex@tamabi.ac.jp

メールタイトル：「交換留学応募登録メール(第2回)」

本文：(1) 学籍番号 (2) 所属学部、学科、専攻、コース (3) 学年 (4) 氏名 (5) 氏名フリガナ
(6) 推薦書を依頼する教員名 (7) 応募する協定校名 (8) 携帯電話番号 [なければ自宅の番号]
(9) email アドレス [毎日確認ができて、かつ添付ファイルが受け取れるもの]
(10) 第1希望に漏れた場合の第2希望以下の学校名 (複数選択可)

登録期間： 2017年11月20日(月)～11月25日(土) 16:30必着

ステップ2 応募書類の提出

下記の(1)～(9)を出願期間内に提出すること。応募する協定校によって提出書類が異なるので注意されたい。

(1) 国外留学願

・指定様式を本学公式サイトからダウンロードすること。

(2) 志望理由・履修計画書(和文)

・志望理由と履修計画を両方あわせて指定用紙に記入すること。
・履修計画には「協定校で学びたいこと」、「制作したいこと」を記述すること。

(3) 志望理由・履修計画書(英文)

・志望理由と履修計画を両方あわせてA4サイズ用紙に印刷すること。
・(2)と同じ内容を英語にしたものとする。

(4) 教員の執筆した推薦書(和文)

・指定様式を本学公式サイトからダウンロードし、所属学科の専任教員に記入してもらうこと。他学科の教員や所属学科の客員教授、非常勤講師による執筆は認められない。

(5) 成績表(和文)

・Live Campusから最新の成績表を発行し、A4サイズ1枚に印刷して提出すること。

(6) 英語能力を証明する書類の写し

・過去2年以内に受験した試験の証明書以外は認められない。
・英語圏以外への留学希望者については、現地公用語の能力を証明する書類の提出も可とする。

(7) 健康診断書

・学内の自動発行機で発行したものを提出すること。

(8) 保証人同意書

・指定様式を本学公式サイトよりダウンロードし、保護者により記入・捺印されたものを提出すること。

(9) 作品資料

- ・面接時に持参するポートフォリオや作品のうち3点を選び、A4用紙1枚に1作品、計A4用紙3枚を提出すること。
- ・1作品につき、カラー画像を各2~4枚掲載すること。
- ・作品のタイトル、作品の説明文（和文で5行程度）を各用紙に記載すること。
- ・用紙3枚とも学籍番号、学科・専攻、学年、氏名を一番下に記載すること。

提出先： 国際交流室（八王子キャンパス 本部棟2階）
美術学部事務室（上野毛キャンパス 本館2階）

提出期間： 2017年11月27日（月）～12月1日（金） 9:30-16:30（締切厳守）

※ステップ1の登録が完了していない者については、応募書類を受け付けない。

※出願期間を過ぎた提出は一切認められない。

※郵送での提出は認められない。

ステップ3 英語テストの受講

下記期間内に指定する英語テストを受験することが必要である。インターネットに接続されたコンピュータを使って各自で受験すること（受験料は不要）。

実施期間： 2017年12月4日（月）13:00～12月10日（日）23:59

※詳細は、応募書類提出時に知らせる。

5. 書類審査（1次審査）について

応募書類・英語テストによる1次審査を行う。審査結果については、12月15日（金）までに応募者本人に email にて伝える。

6. 選考面接（2次審査）について

1次審査を通過した者について、選考面接を行う。その際、応募者は以下の注意事項を確認の上、ポートフォリオ、作品を持参すること。

- ・ポートフォリオのサイズはA3サイズもしくはA4サイズのバインダー等に綴ること。
- ・各作品について、簡単な説明を書き記すこと（日本語・英語併記、もしくは日本語・現地語併記）。
- ・映像作品の場合は、5分以内に編集し、選考面接時に自分のノートPCを持参して発表すること。
- ・面接時間の都合上、映像を全て発表できない可能性があるため、発表方法は工夫すること。

英語面接について

選考面接において、一部英語での面接を実施する。応募者は下記の項目について英語で説明・応答できるよう準備すること。

- ・自己紹介
- ・交換留学先大学を選んだ志望動機、またそこで何をしたいかの説明
- ・自分の専攻分野を選んだ動機・理由
- ・面接日に持参するポートフォリオ・作品のうち、代表作1点のコンセプト・背景説明

※面接本番では原稿やメモを読み上げることはできない。

※上記以外のことを面接で聞くこともある。

選考面接（2次審査）日： 2017年12月22日（金）

※時間・場所などの詳細は、書類審査（1次審査）の通過者において連絡する。

選考面接（2次審査）結果

合格者には、2017年12月25日（月）、26日（火）に電話で連絡する。

不合格者には1月6日(土)までに email で連絡する。

※提出物（出願書類、ポートフォリオ）、英語力、選考面接の結果を総合し、本学を代表する派遣交換留学生としてふさわしい者が選定される。

7. 協定校への出願書類提出（2次審査合格者）

2018年3月～4月（協定校により異なる）

8. 協定校での選考（3次[最終]審査）

2018年4月～6月（協定校により異なる）

9. 協定校からの選考結果通知

2018年5月～6月（協定校により異なる）

10. その他

- ① 候補者がいない協定校については、選考に漏れた応募者の中から再度選考することがある。選考方法等については別途指示する。
- ② 教職課程を履修している者については、在学中に免許を取得することができなくなるので注意すること（資格課程科目は単位認定不可のため）。
- ③ 学芸員課程を履修している者については、在学中に免許を取得することが難しくなるので注意すること（資格課程科目は単位認定不可のため）。
- ④ 派遣先での宿舍は、学生個人で探さなければならない。英語やその他現地語で派遣先の住宅担当部署や現地の不動産業者等と直接やりとりをする必要があることを留意すること。
- ⑤ 派遣先への入国に必要なビザ申請等の各種手続きは、学生個人で行う必要がある。都内にある現地国の大使館等に相談した上で、各自手続きを進める必要があることを留意すること。
- ⑥ 派遣学生は、渡航前に本学が指定する保険（学研災付帯海外留学保険）に加入しなければならない。正当な理由があっても、本学が指定する保険に加入しない場合は、本学が指定する補償内容をカバーした十分な保証内容の保険に加入しなければならない。クレジットカードに付帯されている保険は不可とする。
- ⑦ 派遣交換留学生に対して、多摩美術大学交換留学生奨学金を給付する（参考：昨年度給付額 200,000 円）。奨学金を受給するためには海外保険に加入したことを示す証書の提出が必要である。
- ⑧ 派遣時に日本学生支援機構の奨学金を受けている学生は、学生課での手続きが必要となる。
- ⑩ 日本学生支援機構から第二種奨学金の貸与を受けていない派遣学生は、新たに日本学生支援機構から第二種奨学金（短期留学、貸与）の申し込みができる。希望者は学生課に問い合わせること。
- ⑪ 派遣学生は留学体験レポート（用紙は国際交流室が配布する）を提出する必要がある。また、次年度に実施する留学体験報告会での発表義務を負う。

【問い合わせ先】 国際交流室（八王子キャンパス 本部棟 2 階） Tel: 042-679-5605 / email: intl-ex@tamabi.ac.jp

学生の皆様へ

教務部 国際交流室

交換留学におけるアアルト大学の対象学科について

交換留学対象校のアアルト大学について、2017年度後期の派遣先としては以下の学科となります。

学部

- Art Education
- Major in Design (Ceramic, Glass)
- Major in Design (Textile Design)
- Major in Fashion
- Major in Visual Communication Design (Graphic Design)

修士課程

- Art Education
- Master's Degree Program in Collaborative and Industrial Design
- Master's Degree Program in Fashion and Collection Design
- Master's Degree Program in Product and Spatial Design
- Major in Visual Culture and Contemporary Art (ViCCA) of Master's Degree Program in Visual Culture and Contemporary Art
- Master's Degree Program in Visual Communication Design (Graphic Design)
- Master's Degree Program in New Media

※本学学部生はアアルト大学の修士課程コースに通常受け入れられません。アアルト大学より「大学院で受け入れるレベルに達している」と判断された場合にのみ受け入れられることがあります。

- ・応募先の学科内容については、応募者本人がアアルト大学のホームページ等で確認してください。
- ・応募者の所属学科・コースに関わらず、アアルト大学で学びたい分野のコースに応募できます。ただし、本学での専門分野以外のコースに応募する場合は、事前に所属学科長の許可を得る必要があります。
- ・対象学科について質問がある場合には、国際交流室までお問い合わせください。

問い合わせ先：

国際交流室 Tel: 042-679-5605 / Fax: 042-676-2935 / email: intl-ex@tamabi.ac.jp

国外留学願

多摩美術大学学長 殿

私は、多摩美術大学交換留学に関する規定に基づき、以下の通り留学したいので許可してください。

フリガナ	セイ		メイ		(印)	写真貼付			
氏名	姓		名						
ローマ字	(family)		(first)		(middle)				
生年月日	年齢	性別	国籍		学籍番号				
1	9	年	月	日	歳	男	女		
所属	大学院	美術	研究科	専攻		領域	年		
	大学	美術	学部	学科		専攻・コース	年		
現住所	〒					電話番号			
						携帯番号			
						E-mail			
志望順位 (1-10) ※同順位不可	協定校名		学科名(※正式名称を調べ、 英語 で記入すること)						
	シラパコーン大学(タイ)								
	弘益大学校(韓国)								
	アアルト大学(フィンランド)								
	ベルリン芸術大学美術学部 (ドイツ)								
	国立台北芸術大学(台湾)								
	ヘリット・リートフェルト ・アカデミー(オランダ)								
	ソウル大学校(韓国)								
	オスロ国立芸術大学(ノルウェー)								
	ヨーテボリ大学(スウェーデン)								
	国立高等装飾美術学校 (フランス)								

※留学先として希望する協定校にのみ、志望順位を記入すること。第1志望のみでも構わない。

履歴書

学歴 (高等学校卒業以降)	年	月	高等学校卒業
			入学
受賞・入選歴	年	月	

※ 記入欄が不足する場合は、別紙(A4サイズ)に記載したうえで、添付してください。

保証人同意書

年 月 日

多摩美術大学学長 殿

私は、私が保証人となっている

_____学部・研究科 _____学科 _____専攻・コース

氏名 _____の外国留学に同意し、留学に係る一切の事柄について

責任を負います。

住 所 :

電話番号 :

氏 名 :

①